

平成18年6月5日公表

### 平成18年産 4 麦の作付面積（大分県）

- 3年ぶりに増加 -

#### 【調査結果の概要】

大分県における平成18年産4麦の作付面積は、4,930haで、前年産に比べ40ha(1%)増加しました。

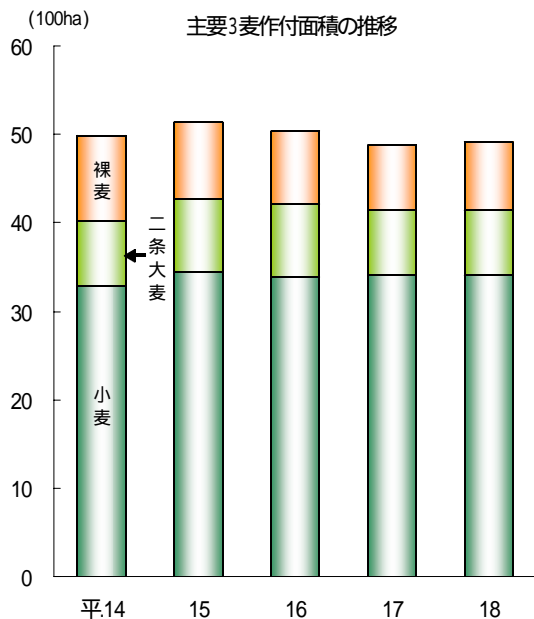
これは、二条大麦が減少したものの、裸麦、小麦、六条大麦が増加したためです。

田畑別では、田作は4,800haで、前年産に比べ40ha(1%)増加し、畑作は128haで、前年産に比べ4ha(3%)減少しました。

平成18年産 4 麦 の 作 付 面 積

(単位:ha,%)

区 分	田	畑	計	対 前 年 比 較	
				対 差	対 比
小 麦	3 340	69	3 410	10	100
二 条 大 麦	713	12	725	15	98
六 条 大 麦	12	-	12	5	171
裸 麦	733	47	780	32	104
計	4 800	128	4 930	40	101



(裸麦)

## 【解説】

### (1) 小麦

作付面積は3,410haで、前年産に比べ10ha（0.3%）増加しました。

これは、前年産に引き続き、醤油原料用の作付面積が増加したためです。

### (2) 二条大麦

作付面積は725haで、前年産に比べ15ha（2%）減少しました。

これは、焼酎原料用の作付面積がやや増加したものの、健康食品（青汁原料）用の作付面積が減少したためです。

### (3) 六条大麦

作付面積は12haで、前年産に比べ5ha（71%）増加しました。

これは、前年産に引き続き、麦茶原料用としての作付面積が増加したためです。

### (4) 裸麦

作付面積は780haで、前年産に比べ32ha（4%）増加しました。

これは、味噌原料用及び健康食品（青汁原料）用の作付面積が、ともに増加したためです。

## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

本調査は、麦の生産に関する実態を明らかにし、麦作経営安定資金を始めとした新たな麦対策の推進、需給計画の策定や生産対策、「食料・農業・農村基本計画」における生産努力目標の検証に資することを目的としています。

### 2 調査の対象

大分県を対象に調査を行いました。

### 3 調査客体数

(1) 面接調査：18団体

(2) 巡回・見積り：18市町村

### 4 調査期日

平成18年4月1日

### 5 調査方法

統計・情報センター職員による関係団体に対する面接調査、巡回・見積りにより行いました。

## 6 目標（実績）精度

本調査においては、目標精度は設定していません。

## 7 用語の解説

4 麦の作付面積とは、子実用の他、青刈り用及びその他用（農作物の保護用、健康食品用等）を含んだ数値をいいます。

## 8 統計表の見方等

(1) 数値は、以下の基準によりラウンド（四捨五入）しています。

原 数	4けた (1 000)	3けた以下 (100)
ラウンドするけた (下から)	1けた	ラウンド しない
(例)		
ラウンド前(原 数)	1 234	123
ラウンド後(統計値)	1 230	123

(2) 表中に用いた記号は以下のとおりです。

「 - 」: 事実のないもの

「 」: 減少したもの

## 9 その他

この資料の数値は概数であり、確定値は農林水産省統計部発刊（平成19年3月予定）の『耕地及び作付面積統計』に掲載します。

この資料は、九州農政局大分農政事務所ホームページ【<http://www.oita.info.maff.go.jp/>】でご覧いただけます。

### 問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部  
生産流通消費統計課 生産統計第1係

TEL 097-532-6196 FAX 097-538-1820

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部  
統計企画課 企画係

TEL 097-532-6177 FAX 097-538-1820